

# 種鶏(しゅけい)の美味しさを世界に発信！ Made in Japanの高品質ハラルフードの 加工、販売、輸出

総合化事業計画の認定

平成24年2月

株式会社エヌチキン

## <事業者の概要>

- ・所在地 : 鹿児島県南九州市
- ・代表者 : 代表取締役 徳満 義弘
- ・取組内容 : 種鶏の特長を生かしたレトルト加工品(特徴)等を製造し、国内外の販売に取り組む。
- ・売上高 : 34億7,700万円 (H29)
- ・雇用者数 : 261名(非常勤雇用含む) (H29)
- ・URL : <http://ajinatori.com/>  
: <http://ajinatori-halal.jp/> (ハラル専用)



ハラルフード



ハラルラーメン

## 【取り組むに至った経緯】

- 今まで有効活用されなかった肉用鶏の親鳥である種鶏は、ブロイラーと比べて飼養期間が長いいため、歯ごたえとコクのあるしっかりとした味の肉質であり、九州で好まれる香りの強い焼酎に合うことに着目し、炭火焼きやモモ燻製等のレトルト食品の加工を開始した。
- 常温管理が可能であるレトルト食品の強みを生かし、ベトナムや香港などアジア市場に向けて輸出を開始するとともに、ハラル認証を取得してハラルフードとして海外展開に向けた準備を行った。

## 【取り組む際に生じた課題と対応方法】

- ハラルフードや宗教観、習慣に関する情報不足  
→国内外の海外事情に詳しい取引先から様々な情報を収集した。
- ハラル処理するムスリムの雇用  
→外国人技能実習生制度を活用してムスリムを雇用した。
- 異物混入を防止するための対応  
→豚肉やハラルに違反する調味料等の混入を防ぐため、ハラル専用の新工場を建設してハラルフードの生産に対応した。

## 【取組の効果】

- 売上高  
24億6,700万円 (H23)  
→ 34億7,700万円 (H29)
- 処理量 1万6,108 t (H29)
- 雇用(非常勤雇用含む)  
186名 (H23) → 261名 (H29)
- ハラルフードへの関心が全国的に高まり、商品が国際線機内食に採用。
- レトルト加工品が、鹿児島県の特産品コンクールにて県知事賞を受賞。

## 【今後の展望】

- ハラルフードの海外展開と国内販売の拡大に取り組む。
- レトルト加工品のラインナップを拡充させる。
- 高齢化に対応する食品を開発する。

## 【活用した支援施策】

- なし

(事業体制図)

